



第267回触媒化学研究センター談話会

演 題：イオン液体とナノ粒子

講演者：西川恵子 教授

(千葉大学大学院融合科学研究科ナノサイエンス専攻)

日 時：2010年2月5日(金)16:50-17:50

会 場：北海道大学創成科学研究棟
4階セミナー室A

要 旨：イオン液体表面にアルゴンイオンスパッタリングすると、表面に堆積するやいなや金属はナノ粒子を形成しイオン液体中に安定に分散することが発見された。媒体中のナノ粒子は、通常安定化剤などで保護しないと凝集を起こすが、今回紹介するナノ粒子は、「裸」の状態であり、純粋なしかも簡便なナノ粒子の合成法として注目を集めている。イオン液体の種類や捕獲するイオン液体の温度で、粒子サイズを制御できることが明らかになった。条件によっては、1nm以下のナノ粒子や、マジックナンバーのナノクラスターも合成できる。イオン液体中に生成したAuのナノ粒子について、小角X線散乱やEXAFSの結果を紹介する。

《連絡先》触媒化学研究センター 表面構造化学研究部門

高草木 達 (011-706-9114)

主催：触媒化学研究センター